

アガへ No.55

総主事 堤 弘雄

自分力

自分力という言葉があるのかどうか分かりませんが、私なりに定義してみたいと思います。仕事をなくし、社会的な地位や立場をなくした時。愛する人を亡くした時。これまで自由に動いていた身体が動かなくなってしまった時。加齢や病気で自分自身の死を意識した時。このように自分を支えていたものがなくなった時に、自分力が問われてくるのではないかと思います。

思えば、これらのことは人間が生きていく上で必ず経験することでもあります。そのような時でも心豊かに生きるためには、2つの条件が考えられると思います。一つは、たとえ孤独な状況でも、これまでに流れてきた時間や出会った人々、与えられた命、花や木々など自然界にあるすべての命を与え賜う神様に感謝できる心を持つということ。もう一つは、人や社会との関係を少しでも保ち続けることだと思います。それは、近くの教会に行くのも良いし、YMCAなどでスポーツや生涯学習の場を得るのも良いし、ワイズメンズクラブに入って素敵な仲間と交わりながら社会に貢献するのも良いのではないのでしょうか。

私は時々、同じ場面の夢をみることがあります。それは、畑の中で鎌を持って一人たたずんでいる自分の姿です。社会的な役割を終えたらささやかでも農業で自給自足をしながら暮らしたい、自然の中で過ごしたいという憧れからくる夢かもしれません。将来そのような時が来た時、孤独な自分なのか、感謝の心で満たされた自分なのか想像もつきません。

願わくは、孤独な状態にあっても、自然界の万物を創造され、自分や家族に命を与えてくださった神様に感謝できるような自分でありたいものです。神様を信頼して、感謝して、そのままの自分を委ねる自分力を身につけたいものです。



大盛況！YMCA祭り
9月5日(日)、みなみYMCAでは2年ぶりにサザンフェスタが開催されました。テーマは、「みなみから かかれ架け橋 地域・世界へ」。実行委員長を務めるリーダーの緒方大地さんの挨拶で開幕し、新体操やHIPHOPクラスマンバーによる演技、フラメンコ、フラダンス、ゴスペルなどのステージ発表が会場を彩りました。また、19日(日)にはながみねファミリーYMCAを会場に「みなみ祭」が開催されました。テーマは「深めよう地域のキズナ 守ろう子どもの未来」。恒例のゆかたコンテスト、生バンド演奏に加え、今



年は子どもたち対象のスタンプラリーも行われ、スタンプを集めプレゼントを手にした子どもたちは喜びの表情でした。両祭りとも、2000名近い人たちの来場があり、食パザーやリーダーたちによるゲームコーナーなどが人気を博していました。毎年夏から秋にかけて各地域YMCAで開催されるYMCA祭りは、多くのボランティアの協力によって企画運営され、地域のお祭りとして親しまれています。さらに益金は、YMCAの国際協力活動や青少年育成活動のために役立てられます。



「YMCA熊本よかばい探検隊」
高校生がラジオ番組制作を体験
通信制 単位制の高校・YMCA学院高等学校では、2008年度から総合的な学習の時間の中でラジオ番組の制作に挑戦しています。題して「YMCA熊本よかばい探検隊」。RKKラジオ「とんでるワイド大田黒浩一」のきょうも元気！」の中で放送され、生徒が調べた熊本の魅力、日々疑問に思ったことなどを報告し、大田黒さんか

らコメントしてもらおうという内容です。今年7名の生徒が参加し、8月5日(木)～9月9日(木)にかけて6回放送。「市電の路線について」「上通アーケードの木製の路面」などの熊本に関する話題から、「コンビニおにぎりのご飯は何粒あるか」「紙は何回折れるか」といった実験的なものまで、様々なテーマを取り上げました。テーマの設定や原稿作成は、同校の先生や番組スタッフからアドバイスをもらい、取材は生徒一人で行いました。緊張しながらスタジオに入り、何度も読む練習をして収録したそうです。

「企画から取材、収録まで、番組作りは高校生にとって貴重な体験。卒業後、振り返った時にいい思い出になればと思います」と担当の中島修さん。来年度も番組制作の授業を続けていきたいと話してくれました。



ボウリングでスポーツ交流
開催日時/2010年9月23日(祝・木)9時～12時
開催場所/マスターズボウル熊本
第18回会員スポーツ大会が開催され、熊本YMCAに様々な立場で関わる約120名がチーム対抗のボウリングを通して交流しました。参加者からは、「普段職場ではスポーツ交流などないので、楽しく身体を動かすいい機会でした」との感想が聞かれました。ストライク募金で集まった約2万5千円は、タイ里親運動のために役立てられます。



大声援の中力泳
水上フェスティバル
開催日時/2010年9月12日(日)8時半～11時45分
開催場所/パークドーム熊本
会場に174名の子どもたちが集結。水泳教室に通う子どもたちにとって年に一度の大イベント。ドキドキ、わくわくの中、たくましく泳いでいる姿を見て、リーダーたちも多くの感動をもらいました。参加したながみねファミリーの中村風沙さん(小3)は「たくさんの人の前で名前を呼ばれて、緊張したけれど、精一杯がんばれました」と話してくれました。ながみねファミリーYMCA 矢野敬一